

## P2M マガジン創刊に際しての編集者からのご案内

P2M マガジン編集委員長 亀山秀雄

平成 28 年 6 月 1 日に創刊しました P2M マガジンは、学会会員への情報サービスを目的としたものですが、その効果として、プログラママネジメントの普及促進ならびに人材育成を狙いとしております。そのため、P2M マガジンは、広く読まれることも重要です。

そこで会員メリットを考えて、マガジンの閲覧はパスワード管理を行います。パスワードは、マガジン発行のお知らせを会員にメールで発信する際に、閲覧パスワードもお知らせいたします。パスワード使用は、会員が閲覧してもらった方が良く判断した方には、知らせても構いません。

マガジンの構成は、次のような目次を基本として、随時、特集や新項目を立てる予定です。

### ①巻頭言

### ②プログラママネジメント情報

国内外のプログラママネジメントに関する最新動向を紹介いたします。

### ③P2M シリーズ 理論編

P2M 理論についてわかりやすく解説します。

### ④P2M シリーズ ツール編

P2M を活用するとき役に立つツールを取り上げて紹介します。

### ⑤P2M シリーズ 事例編

P2M を実際に活用している事例を紹介いたします。

### ⑥論文の書き方講座

P2M の論文の質的向上を目指して、学際領域を扱っている P2M を学術論文として、オリジナリティーを重視してどのような構成で書いたら良いのかを解説します。

国際 P2M 学会は、文系、理系の様々な分野で活用されていますので、論文の構成もスタイルも多様なものが掲載されています。投稿される論文も多様であります。そこで、どのようにまとめれば P2M 学会の論文として掲載されるのかを異なる分野の方に解説して頂きます。

### ⑦研究室紹介

P2M を研究している研究室を紹介いたします。

### ⑧会社紹介

P2M を活用している会社を紹介いたします。

### ⑨海外情報

P2M に関連した海外の情報を紹介いたします。

### ⑩国際会議情報

P2M に関連する国際会議の情報をいち早く紹介します。

### ⑪解説論文

オリジナリティーや論文としての構成を重視する学術論文ではなく、P2M 理論の理解を深めるには優れている論文を査読なしの解説論文として掲載します。

### ⑫論文紹介

P2M を学ぶために重要な原著論文を紹介いたします。

### ⑬大会顛末記

直近に開催された国際 P2M 学会の様子を大会実行委員長から報告します。

### ⑭大会予告

次の国際 P2M 学会の開催に関する情報を大会実行委員長から紹介します。

### ⑮その他

皆様の要望に応じて企画します。